

女性消防士への配慮は

Q 女性消防士も活躍できるように消防播磨分署の改修を行うが、当事者の意見も聴いて設計すべきでは。

A 加古川市の消防署を見学し確認もしているが、設計に当たっては当事者の意見も参考にする。

喜瀬川遊歩道の安全対策は

Q 喜瀬川遊歩道に転落防止柵を設置することだが、その内容は。

A 喜瀬川遊歩道のひかり橋から浜幹線までの西側に、高さ1.1メートルの転落防止柵を設置する。

特産品アサリの販売は

Q アサリを町の特産品として推奨するなら、サイズ、価格、出荷時期などを考える必要があるのでは。

A サイズ、価格は決めておらず、身の詰まりを重視している。今回は、貝毒発生が予測される前に出荷した。

総合計画策定の必要性は

Q 地方自治法の改正で基本構想の策定義務は廃止されたが、総合計画の意義と必要性をどう考えているのか。

A 策定義務の有無に関わらず、町の将来のまちづくりの方向性を示すもので最上位かつ重要な計画であると考えている。

小中学校の用務員削減は

Q 用務員の人数を減らして学校施設の維持管理に支障はないのか。

A 除草の業務委託や公用車を導入することで、今までより負担軽減を図るので問題はない。

交通指導員の補充は

Q 西小校区担当の指導員が退職され欠員となっている。ホームページで募集しているが現在の状況は。

A 今までの募集条件では希望者がなかったが、再度年齢や町内外を問わず、登校または下校のみも可能として募集している。



▲女性消防士も活躍できる消防署へ



▲南中北側の土地がどう変わるのか？



▲建て替えが望まれる



▲おはよう！安全に

防災計画の推進は

Q 災害発生時など、制約がある状況下でも適切な業務遂行のために備える業務継続計画の策定は。

A コンサルタント業者も含め協議し、平成31年度中には策定する。

狭あい道路整備事業は

Q この事業の周知はどのようにするのか。また地権者からの申し出があれば職員が出向くこともあるのか。

A 町広報、ホームページ、また建築確認時にこの事業をお知らせしている。また、申し出があれば説明を行う。

緑の拠点整備は

Q 緑の拠点の整備場所については、現在行われている基本構想の策定の中で、町内全域から検討するべきでは。

A 播磨南中北側の町有地に整備する予定である。町の西側エリアでも良い場所があれば、緑の整備を考える。

東部コミセンの今後は

Q 他のコミセンと比べ老朽化しており、高齢化が進む中でエレベーターもない。今後の方向性は。

A 東部コミセン地区として建て替え場所などに課題があり、近い将来の実現に向けて進めたい。

本人通知制度の現状は

Q 現在の本人通知制度の登録者数は。職務上請求用紙により請求された個人情報に対し、本人に通知した件数は。

A 登録者数は715名で、個人情報を請求され通知した件数は延べ227件である。さらに登録を促したい。

航空写真の撮影内容は

Q 建物確認のため、3年ごとに航空写真撮影や写真図作成が行われるが、どのように活用しているのか。

A 1月1日現在の航空写真を3年ごとに撮影し、土地、家屋の状況確認に活用している。